

## スターとリーフレットを使用した啓発的セルフケア支援を実施して

上尾中央腎クリニック<sup>1)</sup>

○鈴木 恵理香<sup>1)</sup>, 岩城 智美<sup>1)</sup>, 吉江 祐<sup>1)</sup>

**【目的】**透析生活においてセルフケアは重要であるが、患者との会話の中でセルフケアに関する内容が少なく、関心がなく、理解不足と思われる内容が多く見受けられた。そこでセルフケアへの意識向上を目指し、視覚的でわかりやすい啓発的セルフケア支援を試みた。

**【方法】**DW、シャント、透析療法、K、P、塩分、足の7項目について簡単な内容にしたリーフレットとポスターを作成し、患者待合室に掲示する。月ごとに各項目に関する発言や質問件数を収集し、体重増加率、K、塩分量のデータを設置前後で比較した。

**【結果】**明らかなデータの改善は見られなかったが、発言、質問件数は増加し、内容も自発的で学習意欲のある内容へと変化した。またリーフレットは過半数の患者に持ち帰られた。

**【考察】**啓発的アプローチはセルフケアへの関心を高め、必要性を理解する動機づけとなり、患者が関心を持った時期を逃さず介入することでより効果的になると考えられた。